

流通科学大学

人間社会学部 准教授
山口 志郎 氏



「**KOBE**」×「**SPORT**」
～スポーツ産業振興を通じて、
神戸経済の活性化へ～

〈特集〉コロナ禍での スポーツの可能性



株式会社御所坊

専 務
金井 庸泰 氏

ニューノーマル（新常態）のスポーツのあり方は？ リアルとヴァーチャルの融合による新たなスポーツの可能性

ウィズコロナ、アフターコロナの新常態において、スポーツのあり方はどのように変化していくのか。神戸スポーツ産業懇話会の世話人を務める流通科学大学人間社会学部の山口志郎准教授に今後のスポーツの展望を聞いた。

——コロナがスポーツに及ぼす影響をどう見ているか

コロナの感染拡大により生活様式が一変した。プラス面としては、働き方の柔軟化が進み、家族と過ごす時間が増えた。それに伴い価値観が変化し、お金の使い方も変わってきている。一方でマイナス面としては、観光、旅行業界が打撃を受け、スポーツ・レジャー業界もダメージがあった。ぴあ総合研究所の発表によると、舞台や音楽コンサート、スポーツなどエンターテインメント業界のイベントの中止や延期による損失は年間市場規模の77%にあたる約6,900億円になると推計されている。スポーツだけでも約1,300億円の損失が発生するとしており、今後、従来のスポーツビジネスだけでは厳しい状況が伺える。

——ニューノーマルのスポーツのあり方は

コロナによる一番の影響は、運動不足だ。生活習慣が変化する中で、「アットホームスポーツ」がキーワードになると考えている。アットホームには、『家にいる』という以外に、『くつろぐ』、『自分自身が得意な領域』という意味が含まれている。実際に集まってスポーツすることが困難になる中、自宅で楽しみながらできるスポーツが必要となる。

その点では、eスポーツはアットホームスポーツの1つといえるが、身体的な動きがないという点でネガティブな印象を持たれるケースが多い。そこに身体を動かすフィジカル要素を加えることで、イメージをポジティブに変えることができる。ヴァーチャルの世界でリアルなフィジカルスポーツを行

う、リアルとヴァーチャルの掛け合わせがニューノーマルのスポーツとなるのではないかと。オンラインを通じて、ヴァーチャルの世界で自分が得意なことや興味のあることで世界中の人とつながれることも大きなメリットとなる。

——「有馬-六甲Virtual Ride Race」について

（神戸商工会議所共催事業 詳細は18ページ）

このイベントには、企画当初から携わってきた。企画自体は2019年度にスポーツ庁が主催した「第3回パブコン」の事業プランにおいて、408の応募点数の中から6点の優秀賞に選ばれており、高い評価を得ている。またイベントも各種メディアに取り上げられるなど、注目度の高いものとなった。

コロナ禍で不透明な状況の中、関係者の尽力もあり開催が実現した「有馬-六甲Virtual Ride Race」は、まさにリアルとヴァーチャルの融合の先駆けとなるスポーツイベントとなった。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新しいスポーツイベントを見せることができたと思う。

——今後のスポーツの展望は

「有馬-六甲Virtual Ride Race」は、有馬温泉から六甲山頂にかけての実際のコース映像をヴァーチャルに落とし込んだ点が新しい。今後、実際にリアルなレースも開催することで、有馬への観光の呼び水になればいいし、それをフックに様々な業種・業界とネットワークができればビジネスへの展開も見えてくる。

マラソンでもリアルイベントの開催が難しくなったことにより、実際のコースをヴァーチャルの世界で走るイベントができないか、といった話も聞いている。リアルとヴァーチャルの融合により、今後ますます新たなスポーツの可能性が広がっていくのではないだろうか。

ヴァーチャルライドレースを有馬で開催 有馬温泉のサイクルツーリズムの促進を目指す

オンラインゲームでの対戦を競技としてとらえ、若年層を中心に急速に普及が進むeスポーツ。このたび、有馬温泉のサイクルツーリズム促進を目的に開催されたeスポーツイベント「有馬-六甲Virtual Ride Race」の仕掛け人の一人、御所坊の金井庸泰専務に話を聞いた。

金井氏がeスポーツに目を向けたのは、eスポーツが五輪競技に採用される可能性が取りざたされた4年前に遡る。「私自身、高校でカナダに留学した際にクラスメートとLAN上でゲームを楽しんだ経験から、eスポーツの魅力に気付くことができた。様々な近代スポーツ発祥の地である神戸から、全国に先駆けてeスポーツの新たな試みを発信したいと考えた」と話す。普及させるためには、まずeスポーツを知ってもらう場が必要と考え、eスポーツを楽しむ様子を大画面のモニターで観戦できる関西初のeスポーツバー「BAR DE GOZAR」を2018年5月、有馬玩具博物館の1階にオープン。自らの有馬温泉を拠点としたeスポーツチーム「トレスコルヴォス有馬」もつくった。

その後、ヴァーチャルで自転車競技を楽しむゲーム映像を見る機会があり、「有馬を舞台にしたオンライン上の自転車競技イベントが開催できるのではないかと考えた。有馬温泉から六甲山頂にかけての起伏に富んだ地形を楽しむ自転車愛好家は元々多く、「オンラインからリアルに繋げていくことができれば、有馬温泉へのサイクルツーリズムによる観光誘客にもつながる」という発想が生まれた。このアイデアを約1年かけて練り上げながら、同時進行で賛同する地元企業等との連携でイベント実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備を進めた。

コロナ禍により、使用予定だったサイクリングアプリが利用できなくなるなど、一度は断念しかかったものの、チェコの会社が開発するアプリを紹介してもらった。実際に撮影した映像をもとにヴァーチャルでコースを再現し、

そのコースを走行することができるもので、さっそく開発元に協力を依頼。アプリ内ではアジア地域で初めてとなる有馬温泉-六甲山頂約15kmのヴァーチャル（AR）コースが完成し、準備が整った。コース映像の撮影は金井氏自ら担当。「実際にコースを何度も見ることで、コースの楽しみ方や安全性の課題にも気付くことができた」と話す。

7月26日、『BAR DE GOZAR』を会場に「有馬-六甲Virtual Ride Race」が開催された。会場では招待したeスポーツ選手やプロサイクリストが参加し、オンライン上で世界中から募った約100名の選手とのレースを実施。イベントの様子はYouTubeでライブ配信を行った。アプリと連携した専用のロードバイクを漕ぐと、自分のアバター（分身）が映像上の道路を走行し、勾配によって実際にペダルの重さが変わっていく。きつい坂を乗り越えた際などオンライン観戦者も一緒になって盛り上がった。

金井氏は今後の展開について、「大会の価値が認められれば、自転車やサイクルウェアのメーカーの協賛が得られ、事業化に結び付けていくこともできる」と考えている。来年以降もイベントを継続的に開催し、まずはオンラインで、次にeバイク（電動バイク）、ロードバイクというように参加者のすそ野を広げながらサイクリング文化の定着を狙う。有馬温泉には今後サイクリスト向けの設備を整える計画もあり、リアルなサイクルレースの開催も見据え、サイクルツーリズムによる賑わいづくりが始まろうとしている。



関西初のeスポーツバー「BAR DE GOZAR」



「KOBÉ」×「SPORT」

神戸スポーツ産業懇話会
Sport Industry Network in KOBE

～スポーツ産業振興を通じて、神戸経済の活性化へ～

4 有馬一六甲Virtual Ride Race

フィジカルeスポーツエキシビジョンレース

wahoo

ROUVY

SUNVOLT



神戸商工会議所

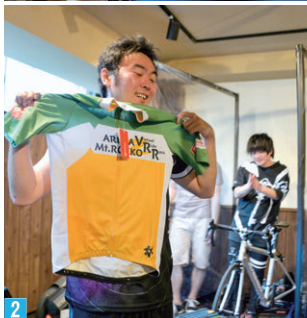
神戸スポーツ産業懇話会

NTT西日本

mont-bell

mont-bell

ARIMA



1 2 eスポーツプレイヤーらが参加したエキシビジョンレース。優勝選手には、オリジナルのチャンピオンジャージを進呈

3 スタッフと選手間、また選手同士の間に飛沫防止フィルムを貼るなど、コロナ対策を講じた上で実施

4 YouTubeのLive配信画面。ロードバイクを漕ぐと、映像内のアバターが走る仕組み。実際に撮影したコースがアプリ内にヴァーチャル(AR)化されている

5 6 プロサイクリストらが参加したヴァーチャルヒルクライムレース。出場選手にはWahooタオルをプレゼント

有馬一六甲 Virtual Ride Race 開催概要

■目的：①有馬一六甲山のサイクルツーリズムの促進

②フィジカルeスポーツの体験を通じたスポーツ実施率の向上

③イベント開催を通じた有馬温泉の賑わい創出

■日時：2020年7月26日(日) 午後1時～4時

■会場：BAR DE GOZAR (神戸市北区有馬町797)

■内容：①フィジカルeスポーツ エキシビジョンレース

・eスポーツプレイヤー4名によるレース、表彰式

・RouvyのAR Routeとして日本初のコース「有馬温泉一六甲山頂ルート」を走行、スプリットゲートポイント(約8km地点)でゴール

②有馬一六甲山頂ヴァーチャルヒルクライムレース

・プロサイクリスト等4名&オンラインプレイヤーによるレース、表彰式

・同上「有馬温泉一六甲山頂ルート」(約15km)を走行

■参加人数：①エキシビジョンレース 4名

②ヴァーチャルヒルクライムレース 109名(うち海外参加者59名)

■備考：レースの様子はYouTubeでLive配信(約2,000回視聴) <https://www.youtube.com/watch?v=3LN4PkOI-Qk>

11月10日(火)にイベント報告セミナーを開催予定。
ヴァーチャルサイクリングの体験ブースも設置します。
詳細は、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.sport-kobe.jp/info/>



■主催：(一社)有馬商店会

■共催：「有馬一六甲Virtual Ride Race」実行委員会

(一社)有馬温泉観光協会青年部/トレスコルヴォス有馬/㈱ジーベック/西尾レントオール/西日本電信電話㈱/
神戸商工会議所神戸スポーツ産業懇話会

■協力：Wahoo Fitness Japan/Rouvy/サンボルト/㈱モンベル/兵庫県eスポーツ連合

■アドバイザー：流通科学大学 人間社会学部 山口 志郎 准教授